

# 1. プロジェクト発表会

プロジェクト発表は、日頃のプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の科学性を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的とする。

## (1) 発表区分と内容

### 区分 食料

1. 食料生産や食品加工に関すること
2. 食料や食品の経営・流通に関すること

### 区分 環境

1. 環境の保全・創造に関すること
2. 環境を創造する素材の生産に関すること

### 区分 文化・生活

1. 文化や交流に関すること
2. 生物の活用に関すること

## (2) 出場資格

発表に参加するクラブ員は各発表区分ごとに、ブロック連盟で審査の結果、最優秀に選ばれた者（またはグループ）とする。

## (3) 発表方法

- ① 発表は視聴覚機器を使用した口頭発表とする。必要に応じ標本・模型などを使用した演示をしてもよい。また視聴覚機器、標本、模型には音声・動画が挿入されていてもよい。
- ② 会場で使用する視聴覚機器のうち、全国大会事務局で用意するものについては「全国大会実施要項」に発表する。
- ③ 発表終了後に質疑応答を行う。

## (4) 発表および準備時間

- ① 発表時間は10分以内として超過2分で発表打ち切りとする。
- ② 時間表示は8分（1鈴）、10分（2鈴）、12分（乱鈴）とする。
- ③ 発表準備のための時間は3分以内とし、2分で1鈴、3分で2鈴、5分で乱鈴、打ち切りとする。

## (5) 発表者および発表補助者

- ① 発表者および発表補助者数は合わせて10名以内とする。
- ② 発表者は口頭発表を行う者とし、3名以内とする。発表補助者は視聴覚機器の操作、標本・模型の演示など、発表の補助を行う者とする。

## (6) 審査および審査員会

- ① 審査は各発表区分ごとにプレイスナンバー方式で行い、最優秀、優秀を選出する。
- ② 審査員は、文部科学省等指導係官・校長・顧問教師・学校農業クラブに理解の深い学識経験者などから選出する。
- ③ 審査員会の構成は、日本学校農業クラブ連盟、開催ブロック連盟および開催県の協議により決定する。
- ④ 審査員会は、発表に対する質疑応答および指導講評を行う。

## (7) 表彰

入賞者に対して表彰を行う。

## (8) 事前提出書類

審査のための資料として、プロジェクト活動記録簿および発表原稿を下記要領でまとめて提出する。

- ① 活動記録簿1冊  
活動記録簿、記録写真等、発表に直接関係ある資料を、A4判ファイル1冊に整理したもの（後日返却する）。

② 発表原稿30部

a) 図表、写真等、発表に使用する内容を示すものを含めたもの。

b) 用紙はA4版とし、横書き、片面印刷とする。表紙の様式は次の通りとする。

農クコード番号

ブロック名

県連盟名

単位クラブ名

発表区分

上記の区分とした理由  
(100字以内)

発表題目

実施者名（代表者、発表者、補助者が区別できるよう、枠内に○印を記入）

代表者	発表者	補助者	科	学 年	氏 名

- ③ 提出期限・提出先  
全国大会事務局の指示による。

(9) 審査基準と配点

項目 配点	事前提出書類		発表の内容			発表のしかた			
	30点		50点			20点			
審査 項目	1	計画にしたがって継続的に研究が進められているか	10	1	発表区分やテーマにあった内容の構成であるか	10	1	発表にかかわる準備と活用が適切であったか	10
				2	発想が独創的で計画は適切にたてられていたか				
	2	実践、研究方法が的確で、実践記録が正確になされているか	10	3	計画の実践において創意工夫がなされているか	10			
				4	成果の判断は論理的・客観的に検討されているか	10			
				5	このプロジェクト活動への取り組みは専門的な能力や態度を高めるために役立つものであるか	10			
3	データの整理が十分になされ、わかりやすいまとめ方であるか	10	2	発表のしかたや態度が適切で分かりやすかったか	10				

(10) ペナルティー

- ① 発表時間および準備時間超過による減点

a)

超過時間	30秒まで	30秒超過～ 60秒まで	60秒超過～ 90秒まで	90秒超過～ 120秒まで	120秒を超過し、打ち切りとなったもの
減点数	2点	4点	6点	8点	10点

b) 時間計測は表現開始より、表現終了までとする。発表者の第一声、演示の開始のうち早いものを表現開始とし、「……終わります。」の声で表現終了とする。

c) 準備時間の計測は、「準備を始めて下さい。」のアナウンスより開始し、「……終わります。」の声で終了する。

- ② 事前提出書類（活動記録簿1冊および発表原稿30部）の遅延による減点  
提出期限に遅れた場合は事前提出書類の得点は0点とする。
- ③ 事前提出書類を提出しない場合は発表を審査しない。

# プロジェクト発表会実施基準についての補足説明

## 1. 発表内容について

発表内容は、農業クラブ員がふだんの農業学習をとおして学んでいるもの、およびそれらを発展・応用したもの、さらにホームプロジェクトで行っている農業学習に関連したものとする。

## 2. 「発表区分」について

① どの区分にするかは発表する内容によって判断すること。たとえば、食料を研究の題材に取り上げている場合であっても、区分「食料」での発表に限定するのではなく、研究の視点が、「環境」や「文化・生活」に関わる内容であれば、該当する区分で出場すること。ただ単に、食料という言葉だけで、発表区分を決定しないこと。

また、なぜその区分で発表するかを発表原稿の表紙の「上記の区分とした理由」の欄に記載すること。

② 「区分 環境の 2. 環境を創造する素材の生産に関すること」について

これは生活環境や自然環境などの環境を創造するための素材（草花、林木および木材、造園樹木など）の生産とその素材生産に関わる経営や流通に関することも含む。

③ 「区分 文化・生活」について

この区分は高等学校学習指導要領に定められている、科目「グリーンライフ」、「生物活用」の内容を含む。

④ 「区分 文化・生活の 1. 文化や交流」について

これには、食文化・地域の伝統芸能などの文化的内容や、人と人との交流、対人（ヒューマン）サービスなどが含まれる。また、この内容を「地域の・・・」と限定しなかった理由は、地域の文化や交流に関するプロジェクトから発展し、全国的・国際的なレベルでの文化や交流（国際交流など）も含まれるという考えによる。

## 3. 「発表および準備時間」について

準備時間設定の目的は、マイクやプロジェクター等の点検にあるから、発表内容の宣伝や拡大と認められた場合は審査基準の「発表のしかた」で減点の対象とする。

## 4. 「発表者および発表補助者」について

発表に参加するクラブ員は各区分とも10名以内とし、男女・学科・学年は問わない。

## 5. 「表現開始」について

時間計測を開始する表現開始のうち、「演示の開始」にはスクリーンへの映写開始も含まれる。

## 6. 計測機器等の持ち込みは制限しない。